

令和7年度第2回TAMA女性センター市民運営委員会 会議概要

開催日時：令和7年5月21日（水）14：00～16：00

場 所：TAMA女性センター 活動交流室

出席委員：（委員長）小泉雅子委員、上田いつき委員、岡田貴子委員、鈴木さくら委員、福壽晃委員、藤江美也子委員（委員長以下50音順）

欠席委員：（副委員長）岡村志穂委員、千代昇委員

TAMA女性センター（事務局）：武井係長、成澤

傍 聴 者：なし

司 会：小泉委員長

<配付資料>

なし

1. 開会

2. 今年度の事業について

（1）7/12開催のワークショップについて

- ・タイトルは「本当に大事？その男らしさ・女らしさ」に決定
- ・基調講演の講師には、男女平等参画推進審議会の委員に来ていただきたい
- ・タイムテーブルは講演が30分、グループワーク90分くらいが目安か
- ・定員は30人で、5人1グループを最大6グループ作るイメージ
- ・会場内にキッズスペースを設け、子ども連れでの参加もできるようにする
- ・日常の中でジェンダーギャップを感じる場面を、2事例ほどテーマを挙げて話し合うというのはいかがでしょうか
- ・今と昔の男女平等意識の変化、結婚観や恋愛観の変化を知りたい
- ・事例について話し合う中で、多摩市に今後どんなことを期待するかという意見にもつながれば
- ・2事例のうち1事例は、事前アンケートの結果を参照したい
- ・2事例ともに事前アンケートの結果を参照でも良いのでは
- ・事前アンケート結果から、グループごとに興味にあるテーマを選んで話し合ってもらい
のはいかがでしょうか
- ・話し合った内容について、市の「女と男がともに生きる行動計画」のどこに結びつくのか、というところまでワークショップの中で考えてもらえるとより良いものになるのでは
- ・参加した市民の考えを知り、計画の見直しに活かすことが目標
- ・ワークショップの周知チラシも、事前アンケートのシール投票と一緒に置きたい。そのため、チラシも6月頭には作成したい
- ・ワークショップの募集については、たま広報6/20号に載せる予定。申し込み受付は6/23から始める
- ・グループワークでブレインストーミングをするため、模造紙と付箋を用意する

- ・基調講演の内容は、会長が大学教授であれば、普段学生と話していて気付いている変化について、結婚観とか恋愛観とか、あとは日本のジェンダーギャップ指数についてなどを話していただきたい
- ・次回、6/25の市民運営委員会で実際に模造紙、付箋を使って予行演習を行いたい

(2) 事前アンケートについて

- ・投票欄は年代で分ける。男・女・どちらでもないはシールで色分け
- ・1パネルに2つの質問を入れる。アンケートの説明が半面と、11の質問を半面ずつ入れて計6枚のパネルを作成する
- ・Yes or Noで答えられるような質問にする
- ・5/26に印刷したい
- ・9月開催予定のワークショップでも使いたいので10代と20代は投票欄を分けたい
- ・年代分けは、～17歳、18～39歳、40～65歳、66歳以上とする
- ・同じ設問でオンラインフォームも作成する。オンラインフォームには選択肢に「どちらでもない」を追加し、自由記述欄も設けられたら
- ・質問の文章にわかりにくいものがあるため、文言を変更する
- ・関戸公民館ロビーの展示には、アンケートパネルを1枚掲示する
- ・京王聖蹟桜ヶ丘SCと登録団体のパネル展示では、6枚のパネルを全て掲示する
- ・質問の並べ順について、答えやすいよう検討が必要

(3) 9月開催のワークショップについて

- ・9/23または9/27の10～12時を予定。本日欠席の委員にも確認し、日程を決める

3. 次回以降の活動日程

- ・下記のとおり、令和7年度第4回の委員会の日程を決定した。

令和7年度第4回市民運営委員会	令和7年7月23日（水）14：00
-----------------	-------------------

4. その他

5. 閉会